

ビスフォスフォネート系薬剤を 服用される患者さんへ

このお薬は、寝たきりの要因の一つである骨粗しょう症による骨折を予防するお薬です。このお薬を処方された場合には、以下のことにご注意ください。

監修：日本臨床整形外科学会 理事長
田辺整形外科医院 院長 田辺秀樹

のみ始める前のご注意

医師、歯科医師と相談のうえ、できるかぎり、
抜歯などの歯科治療は、
この薬剤の治療を始める前に済ませてください。



のみ始めてからのご注意

- ブラッシングなどでお口の中を清潔に保ってください。
- 定期的な歯科検査を受けてください。
- 抜歯などの治療はできるかぎり避けるようにしてください。
(歯科を受診するときは、ビスフォスフォネート系薬剤を服用していることを歯科医師にお伝えください。)
- あごの痛み、歯のゆるみ、歯ぐきの腫れなどの症状があった場合は、医師、歯科医師、薬剤師などにご相談ください。



- のみ始めてから2～3日以内のかぜに似た症状（発熱、関節の痛み、さむけなど）があった場合は、主治医にご相談ください。

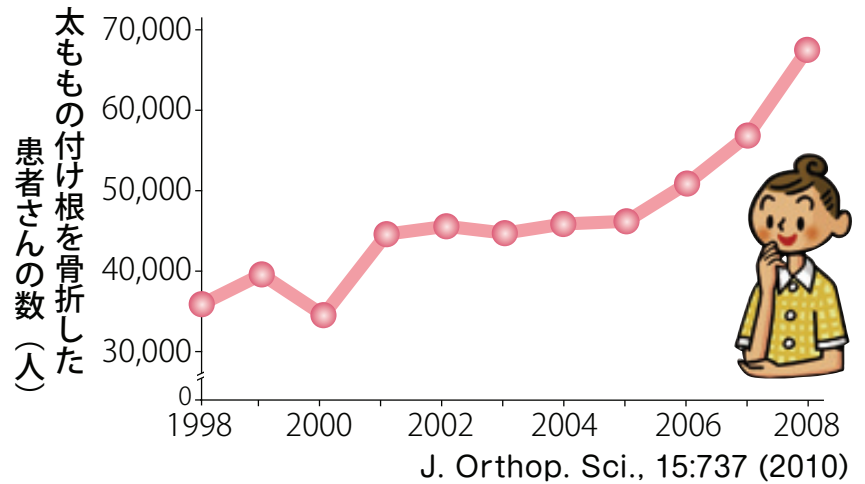
- 太ももの骨が痛いなどの症状があった場合は、主治医にご相談ください。

<参考>

1. ビスフォスフォネート関連顎骨壊死に対するポジションペーパー, Yoneda T et al. J Bone Miner Metab 28: 365-383 (2010)
2. 医薬品医療機器情報提供ホームページ (<http://www.info.pmda.go.jp/>) 厚生労働省ホームページ (<http://www.mhlw.go.jp/>)

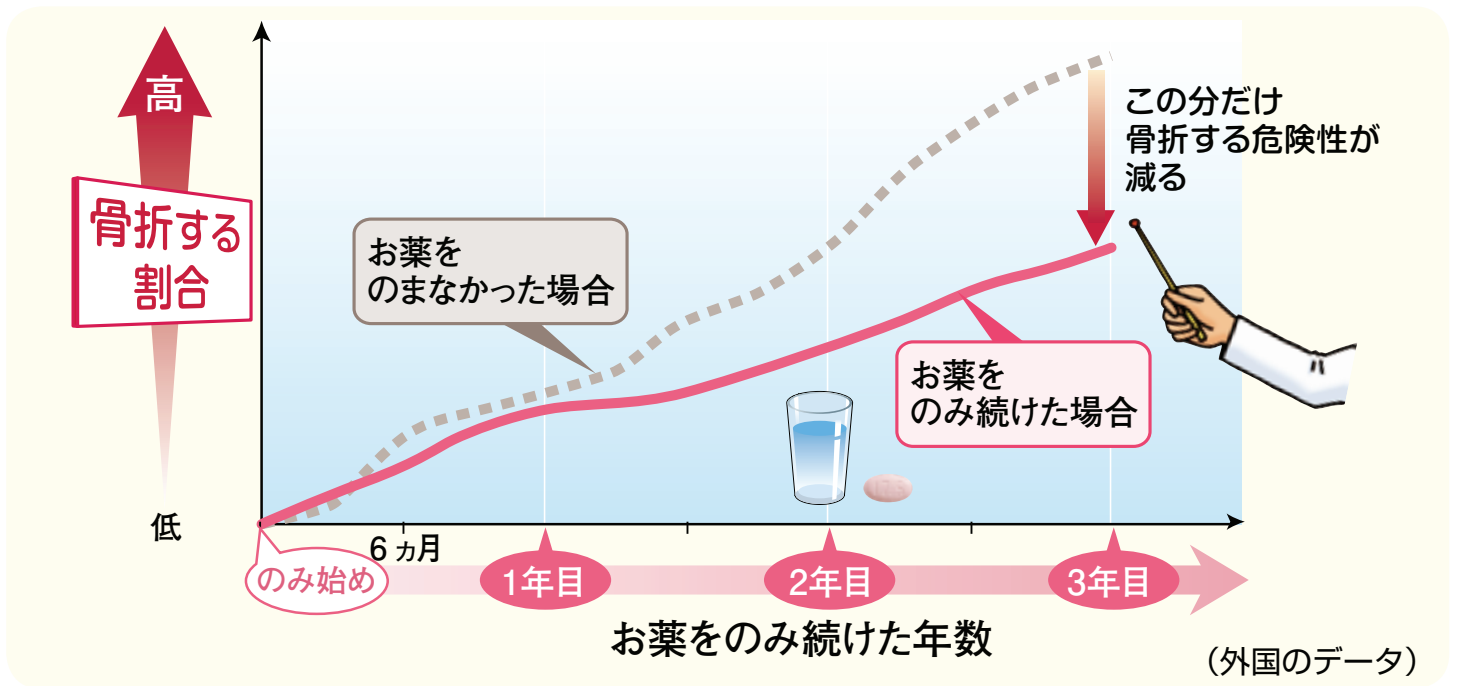
太ももの付け根を骨折する人が増えています。

日本整形外科学会の調査によると、近年、どの年齢層（35歳以上）でも太ももの付け根を骨折する人が増えていることがわかりました。



骨粗しょう症のお薬をのみ続けるのは、なぜ？

骨粗しょう症のお薬をのみ続けると、太ももの付け根の骨折を起こす危険性はお薬をのまなかった場合より大幅に少なくなります。（5,000人以上の患者さまを調査）



NEJM, 344: 333 (2001)

医療機関名